

平成29年度全国学力・学習状況調査

結果と改善の方向

4月18日に、全国学力・学習状況調査（調査科目：国語・算数）が6年生を対象に全国で行われました。すでに都道府県や札幌市の結果が公表され、調査を受けた6年生には個人票を渡しました。

本校の結果につきましても、結果と改善の方向がまとまりましたので、公表いたします。

～調査内容～

主として「知識」に関する問題（A）

- ★身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ★実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

主として「活用」に関する問題（B）

- ★知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容
- ★様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力などに関わる内容など

生活習慣や学習環境に対する質問紙調査

- ★学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

< 国語 >

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

□ 「話すこと・聞くこと」の平均正答率

・ 全国平均を **上回っている。**

□ 「書くこと」の平均正答率

・ 全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

□ 「読むこと」の平均正答率

・ 全国平均を **下回っている。**

□ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率

・ 全国平均を **下回っている。**

主として「活用」に関する問題 (B)

□ 「話すこと・聞くこと」の平均正答率

・ 全国平均を **下回っている。**

□ 「書くこと」の平均正答率

・ 全国平均を **下回っている。**

□ 「読むこと」の平均正答率

・ 全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

今回の調査における課題

● 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりすること。

● 目的に応じて文章の中から必要な情報を見付けたり、文章や俳句から情景を捉えたりすること。また、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること。

● 話の構成や内容を工夫したり、スピーチメモの効果を理解して活用したりすること。また、それらを整理して書いたり、場に応じた適切な言葉遣いで話したりすること。

改善の方向

< 漢字学習の充実 >

⇒ 朝学習の漢字学習を大切に、すでに学習した漢字を繰り返し練習することで定着を図る。また、**スモールステップによるテストの実施**などで、「読める、書ける」喜びを感じさせる。

< 言葉を大切に授業づくり >

⇒ 授業において子どもたちが自分の考えを**書いたり発表したりする機会**を多く設定し、感覚をもとにするのではなく、書かれている文章や文中の言葉に着目するようにさせる。

< 目的意識・相手意識のある「伝える」学習の構成 >

⇒ 作文、随筆、スピーチ、パンフレット作り、ガイドブック作りなど様々な**表現活動**に**細かく目を向け**、より分かりやすく伝えるために大切なことを学習・活用させたり、言葉の与える印象の違いから適切な言葉を選んだりさせる。

<算数>

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

□ 「数と計算」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

□ 「量と測定」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

□ 「図形」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

□ 「数量関係」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

主として「活用」に関する問題 (B)

□ 「数と計算」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

□ 「量と測定」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

□ 「図形」の平均正答率

- ・全国平均を **下回っている。**

□ 「数量関係」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

今回の調査における課題

● 計算の技能や知識、性質の活用に関すること。

① かけ算

(整数、小数)

② わり算

(整数÷整数=分数)

③ 混合算

(加減乗除)

④ 性質の利用

(例：整数の計算を基に小数の計算を考える)

● 長さや重さの単位に関すること。(任意単位)

● 図形の構成要素に関すること。

● 「基準量」「比較量」「割合」に関すること。

● 示された条件から必要な数(量)を適切に選んで考えること。

改善の方向

<朝学習の充実と既習を生かす授業>

⇒ 定着に時間がかかる計算を、各学年で**重点的に取り組んで**定着を図る。また、算数的な系統を意識し、**既習を生かして新しい学習**に発展していくことを意識させる。

<必要性を感じさせる授業>

⇒ 個別単位から**普遍単位**という授業で**実測**をさせたり、様々な単位からメートル法の**仕組み**を見付けさせたりする。

<図形を多面的に見る経験>

⇒ 多面的な見方が必要な問題に取り組ませる。(操作活動の設定と理解を深めるための**ICT活用**)

<数直線を活用した指導>

⇒ 言葉を根拠にした立式ではなく、**数直線を根拠とした立式**による解決方法を身に付けさせる。

<課題解決的授業の実施>

⇒ 情報を活用して立式・解決させるだけでなく、**解決のためのツール**を使えるようにさせる。また、**交流**を通し、自分の考えを友達に説明させる。

児童質問紙より

◎プラス面での回答（している、どちらかといえばしている）の割合が高い（90%程度以上）、

<学習面>

1. 国語の勉強は大切だと思います
2. 算数の勉強は大切だと思います

<生活面>

1. 朝食を毎日食べています
2. 毎日、同じくらいの時刻に起きています
3. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあります
4. 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ます
5. 学校で、友達に会うのは楽しいと思います
6. 学校で、好きな授業があります
7. 友達との約束を守っています
8. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います
9. 人の役に立つ人間になりたいと思います

○プラス面での回答が全国の割合よりも高い

<学習面>

1. 国語の勉強は好きです
2. 国語の授業の内容はよく分かります
3. 読書は好きです
4. 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思います

<生活面>

1. 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をします
2. 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っています
3. 家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがあります

★今後の課題

家庭でテレビ・ゲーム・インターネットの使用、家庭での学習について

⇒長時間テレビやゲーム・インターネットを使用している割合が、**全国に比べて非常に高くな**っています。また、使用についての**約束を家庭で決めていないという割合も高くな**っています。

⇒テレビやゲーム、**インターネットの使用時間が長い反面、家庭での学習時間は、全国に比べて短くな**っています。